



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各位

2022年9月29日

株式会社 おきぎん経済研究所

## おきぎん県内景況・速報（2022年8月分）

◎県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くものの、緩やかに持ち直している。

☆個人消費：スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

新車販売台数は前年同月を下回る。

中古車販売台数は前年同月を下回る。

☆建設関連：公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

☆観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価、宿泊収入(推計値)においても前年同月を上回る。

☆企業倒産：件数、負債額はともに前年同月を上回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：新垣、中江、小嶺 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報(2022年8月分)

◎2022年8月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くものの、緩やかに持ち直している。

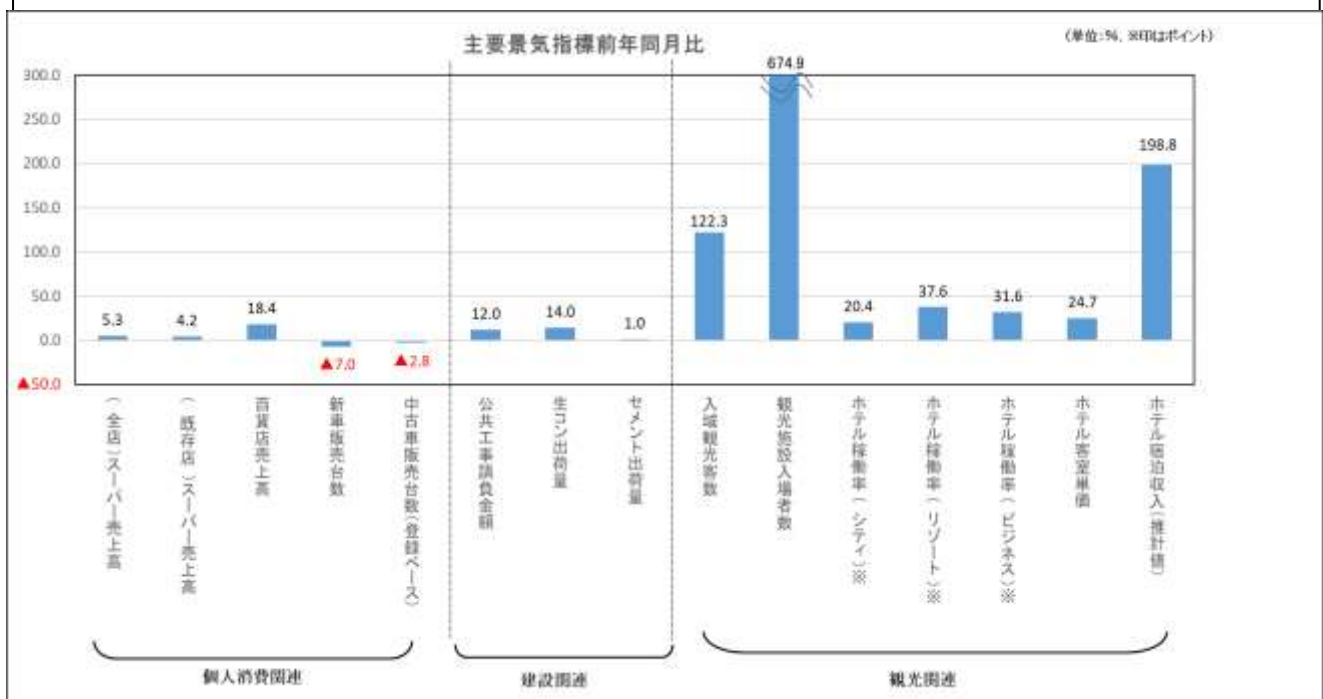
8月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は前年同月を下回り、中古車販売台数も前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を上回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて、前年同月を上回りました。ホテル客室単価、宿泊収入(推計値)においても前年同月を上回りました。

総じてみると、建設関連は、弱い動きが続いており、個人消費及び観光関連は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、緩やかに持ち直しています。よって、「県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くものの、緩やかに持ち直している」と景気判断を据え置きました。

(2022年6月の上方修正から3か月連続で判断維持)

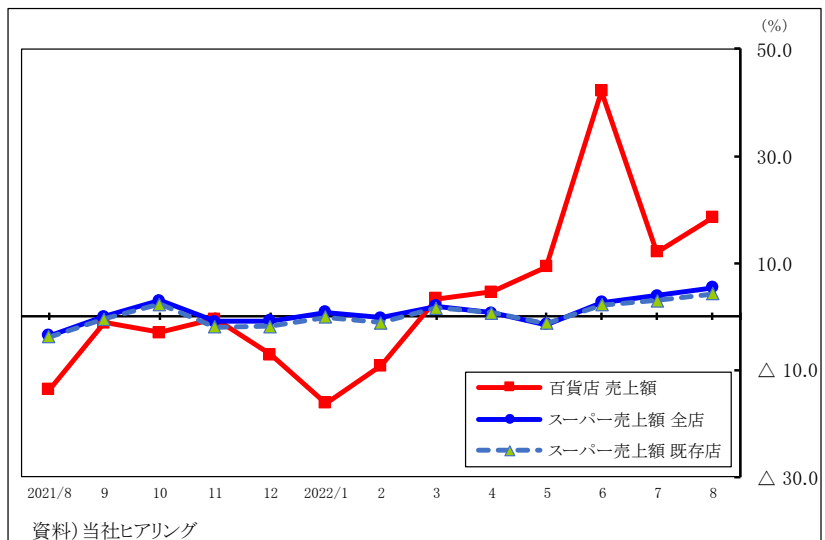




■個人消費： (やや悪い)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	売上額
2021/8	△ 3.6	△ 3.8	△ 13.7
9	0.0	△ 0.5	△ 1.2
10	2.9	2.3	△ 3.0
11	△ 1.0	△ 2.0	△ 0.5
12	△ 0.9	△ 1.9	△ 7.2
2022/1	0.7	△ 0.2	△ 16.3
2	△ 0.3	△ 1.2	△ 9.3
3	1.9	1.5	3.3
4	0.6	0.6	4.6
5	△ 1.5	△ 1.3	9.2
6	2.6	2.1	42.1
7	3.9	2.9	12.0
8	5.3	4.2	18.4



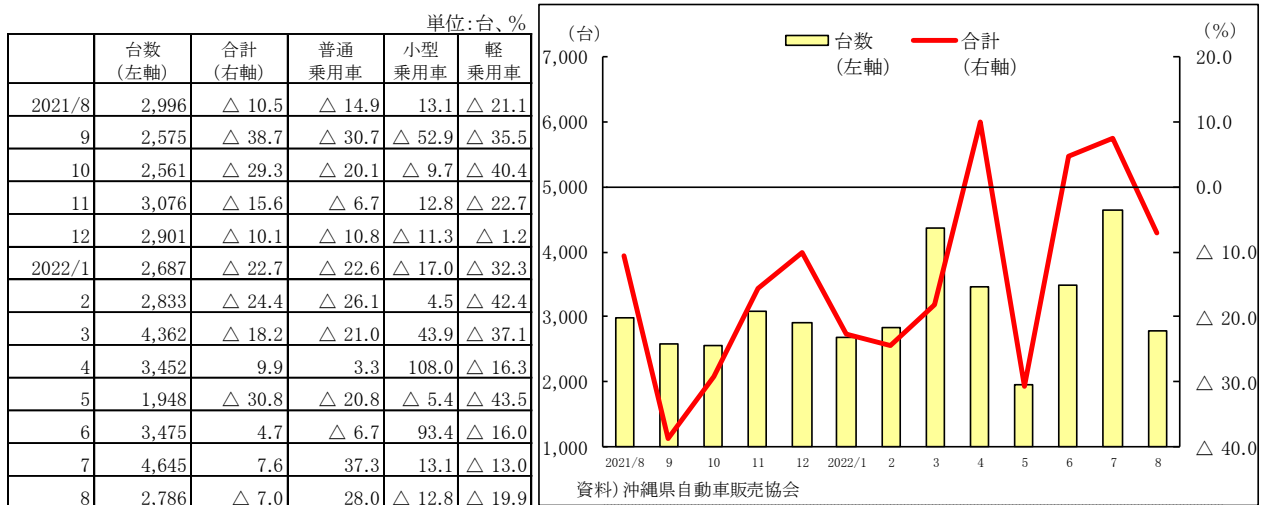
注) 前年同月比

8月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 5.3%増)」は、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では「衣料品(同 40.7%増)」、「家庭用品(同 11.5%増)」は前年の一部店舗の休業や時短営業の反動による来客数の増加などにより、前年同月を上回りました。「食料品(同 3.2%増)」は前年の反動に加え、天候要因などにより前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 4.2%増)」は、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同 2.1%増)」は前年の一部休業や時短営業の反動による来客数の増加や天候要因などにより、前年同月を上回りました。「衣料品(同 41.0%増)」、「家庭用品(同 7.7%増)」は来客数の増加などにより前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、前年同月を上回りました(同 18.4%増)。内訳をみるとウエイトの高い「衣料品(同 41.8%増)」、「身廻品(同 38.1%増)」は、前年の緊急事態宣言の反動などによる来店客数の増加により前年同月を上回りました。「食料品(同 5.2%減)」は前年との旧盆期間のずれに伴い中元ギフト関連商品が前月に計上されたことなどにより前年同月を下回りました。全体としては6ヵ月連続で前年同月を上回りました。

## ② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を下回る。



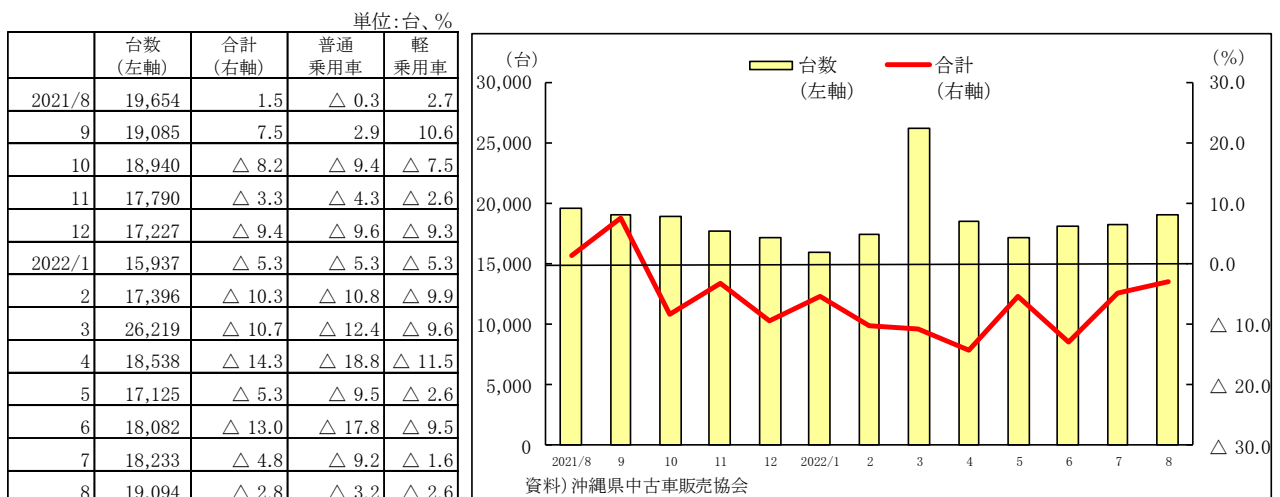
注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

**新車販売台数**は、全体で2,786台(同7.0%減)となり、3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車(同28.0%増)」は、前年同月を上回りました。一方、「小型乗用車(同12.8%減)」、「軽乗用車(同19.9%減)」は半導体不足に伴う供給制限が長期化していることなどにより前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

## ③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を下回る。

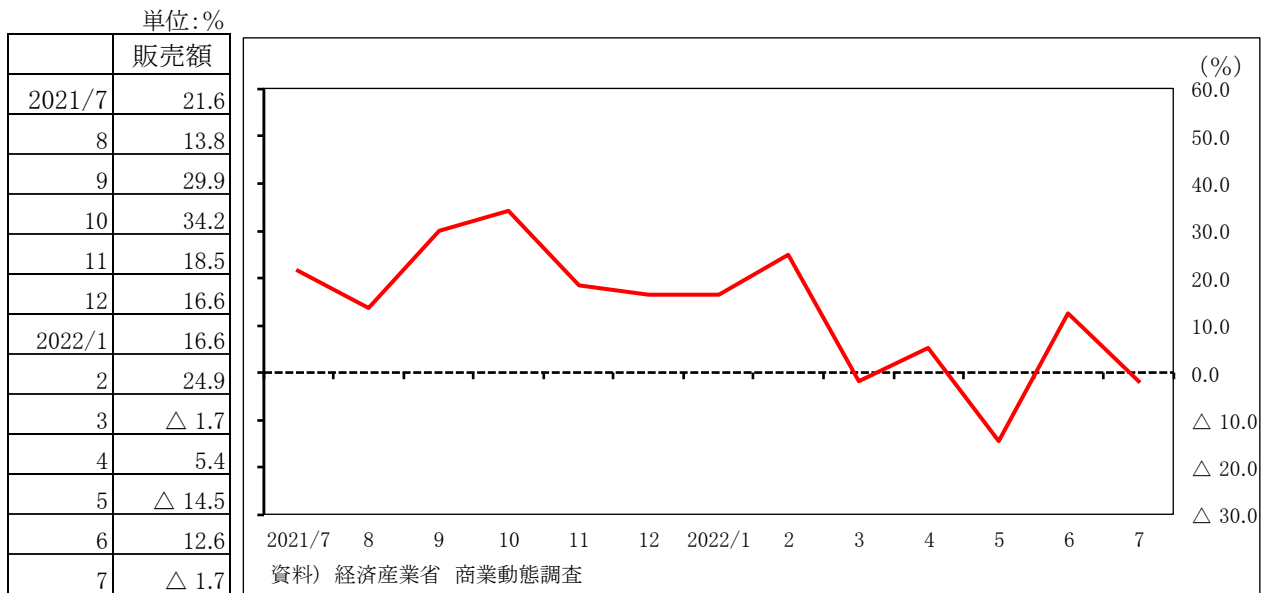


注) 前年同月比

注) 登録ベース

**中古車販売台数(登録ベース)**は、全体で19,094台(同2.8%減)となり、11ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「乗用車(同3.2%減)」、「軽自動車(同2.6%減)」共に市場の供給減少に伴う価格高騰などにより、前年同月を下回りました。

④ 【参考】(7月) 大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を下回る。



注)前年同月比

7月の**大型家電専門店販売額**は2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

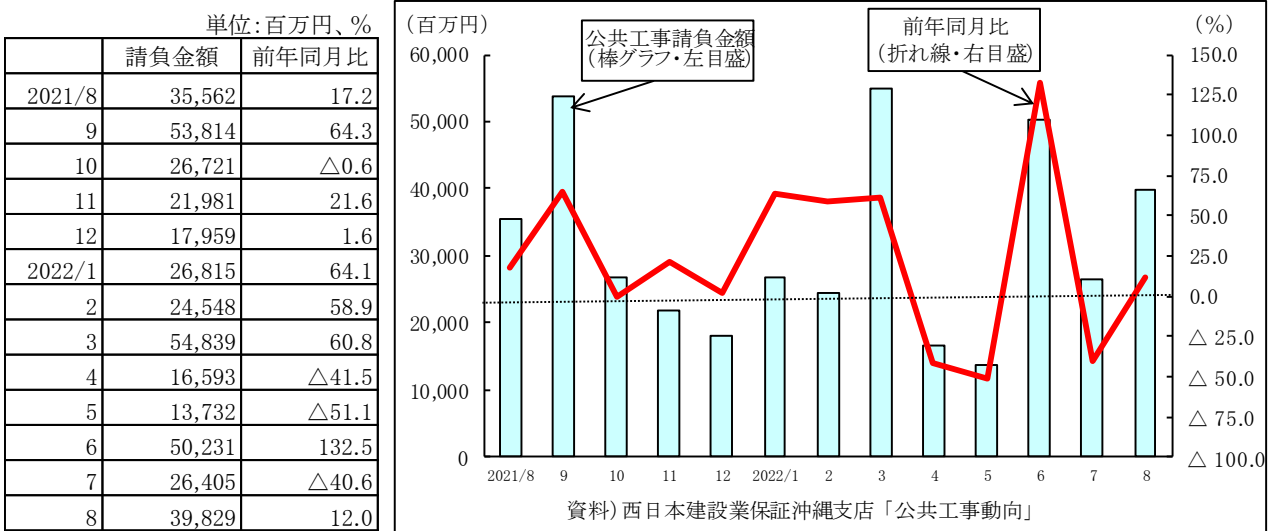
下回った要因として、夏物家電が例年に比べ先行して販売されていたことなどが挙げられています。

※コメントについては商業動態調査を基に小売店へ弊社が独自にヒアリングを行ったものになります。

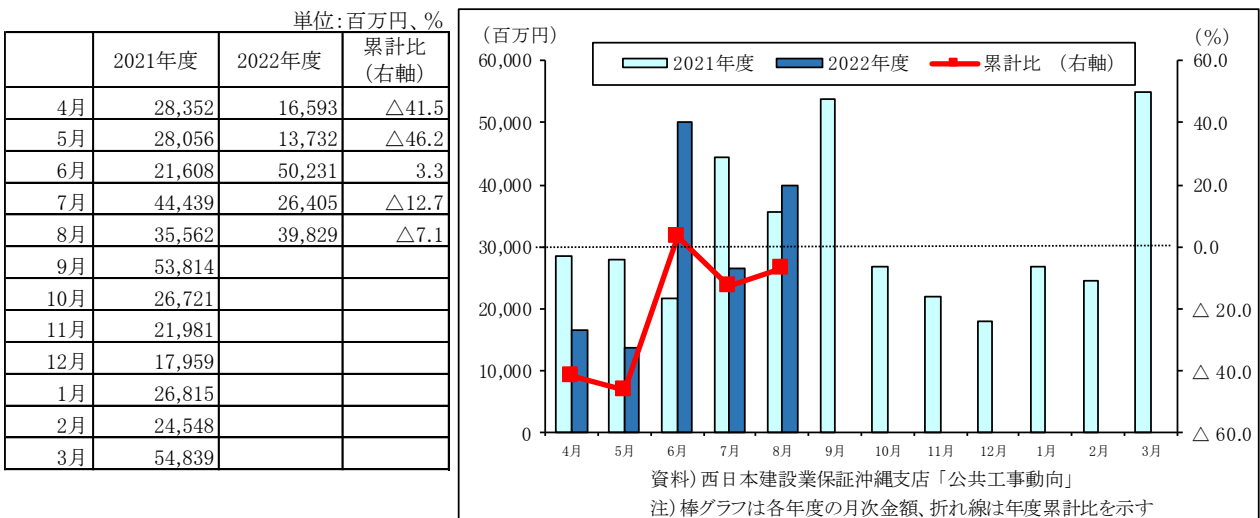


■建設関連： (ふつう)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を上回る。



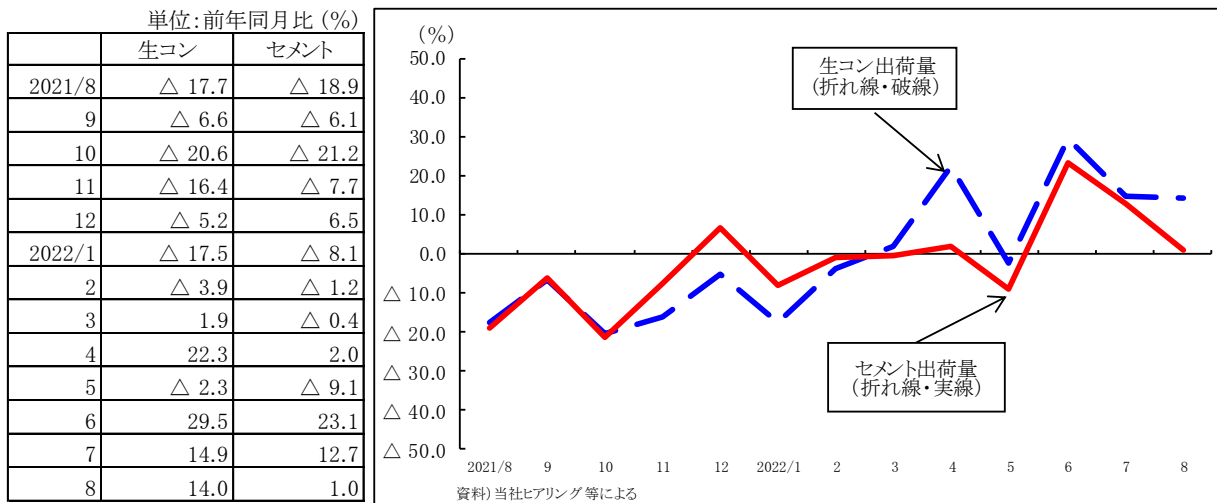
【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を下回る。



8月の公共工事請負金額は、前年同月比 12.0%増の 398 億 2,900 万円となりました(2ヵ月ぶり増)。

発注者別でみると、「国(48.9%増)」、「沖縄県(同 0.8%増)」は前年同月を上回りました。一方、「市町村(同 17.3%減)」、「独立行政法人等(同 98.0%減)」、「その他(同 35.4%減)」は前年同月を下回りました。

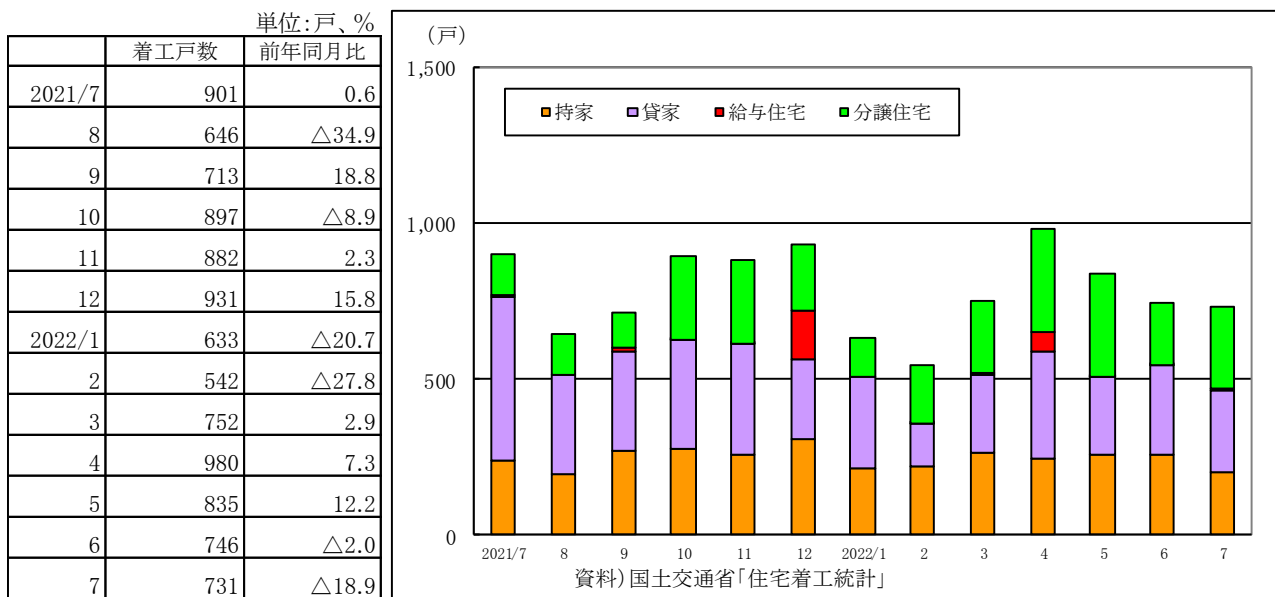
②建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を上回る。



(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

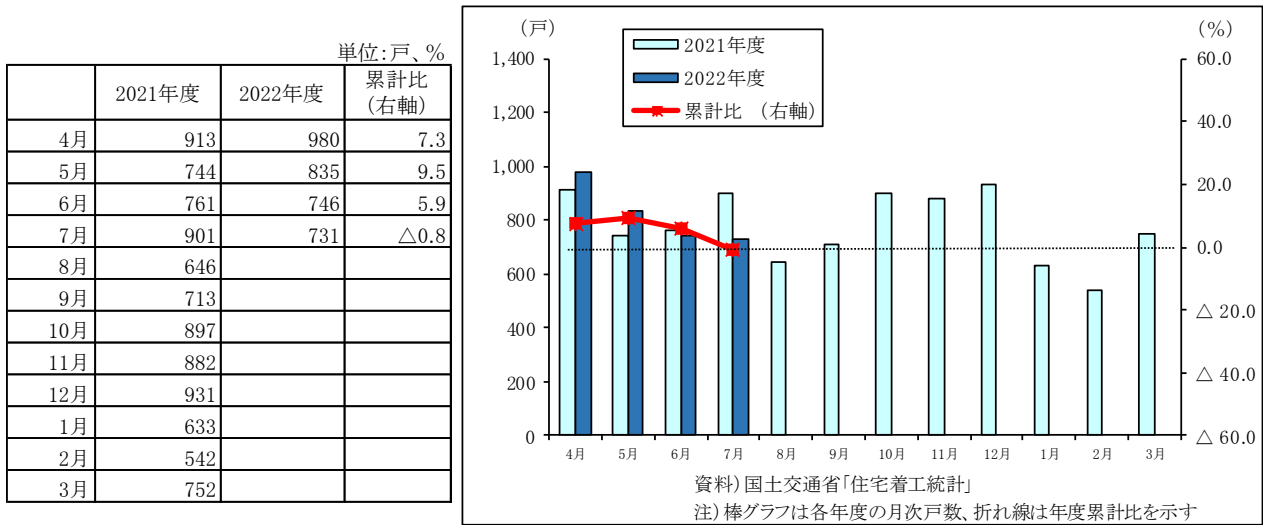
建設資材関連では、生コンの出荷量は 14.0%増と3ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳をみると、公共工事向けは石垣や中南部での出荷が増加したことなどから前年同月より 23.0%上回り、民間工事向けは中南部での出荷が増加したことなどから前年同月より 10.0%上回りました。セメント出荷量は 1.0%増と3ヵ月連続で前年同月を上回りました。

③【参考】住宅投資（7月）・・・着工戸数は前年同月を下回る。



7月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比 18.9%減の 731 戸となり、2ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「貸家(同 49.5%減)」、「持家(同 15.1%減)」、「給与住宅(同 90.0%減)」は前年同月を下回りました。一方、「分譲住宅(同 101.5%増)」は前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を下回る。



今年度累計値では、0.8%減となっています。





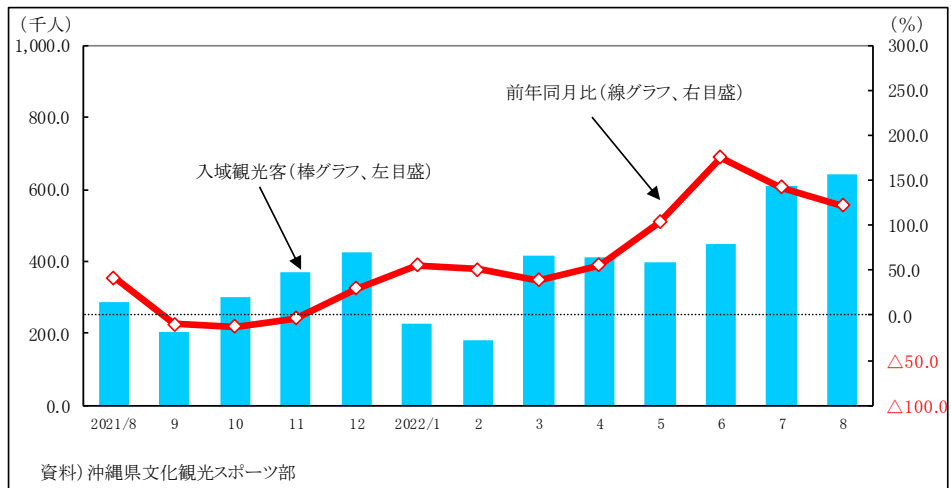
■観光関連： (やや悪い)

①入域観光客数（国内客・外国客の合計）・・・前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2021/8	288.2	42.1
9	204.9	△ 10.0
10	299.0	△ 12.4
11	368.0	△ 3.4
12	423.5	29.8
2022/1	224.6	56.0
2	179.1	50.8
3	415.7	38.9
4	409.0	55.8
5	396.8	103.3
6	448.5	175.3
7	607.8	142.7
8	640.8	122.3

※外国客は乗務員等を含む

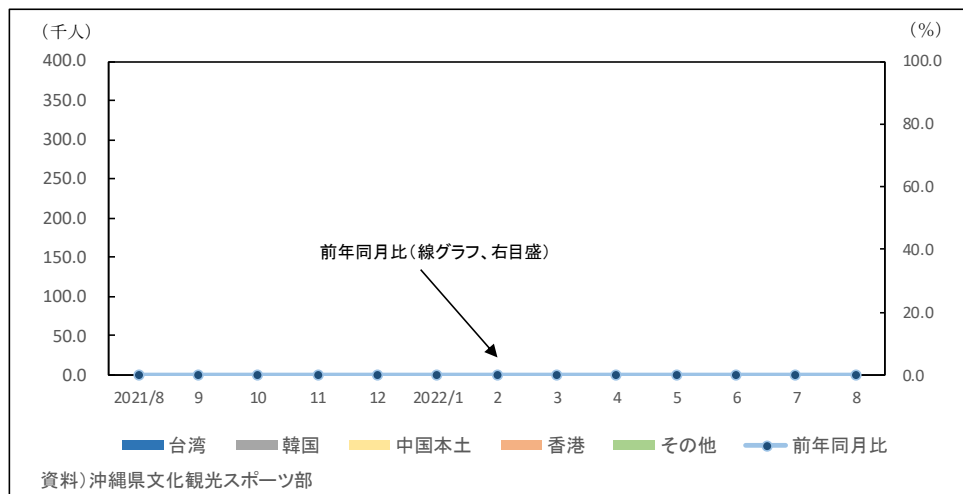


外国客入域観光客数・・・2年5ヵ月振りに入域となる。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2021/8	0.0	N/A
9	0.0	N/A
10	0.0	N/A
11	0.0	N/A
12	0.0	N/A
2022/1	0.0	N/A
2	0.0	N/A
3	0.0	N/A
4	0.0	N/A
5	0.0	N/A
6	0.0	N/A
7	0.0	N/A
8	0.1	N/A

※外国客は乗務員等を含む



8月の入域観光客数は、行動制限がなかったことや多くの航空路線で全便運航となったことなどから、352,600人多い640,800人(前年同月比122.3%増)となり、9ヵ月連続で前年同月を上回りました。

2019年同月比(国内客・外国客の合計)では、380,400人減少(37.3%減)と大きく下回っています。

2019年同月比(国内客)では、97,600人減少(13.2%減)となっています。

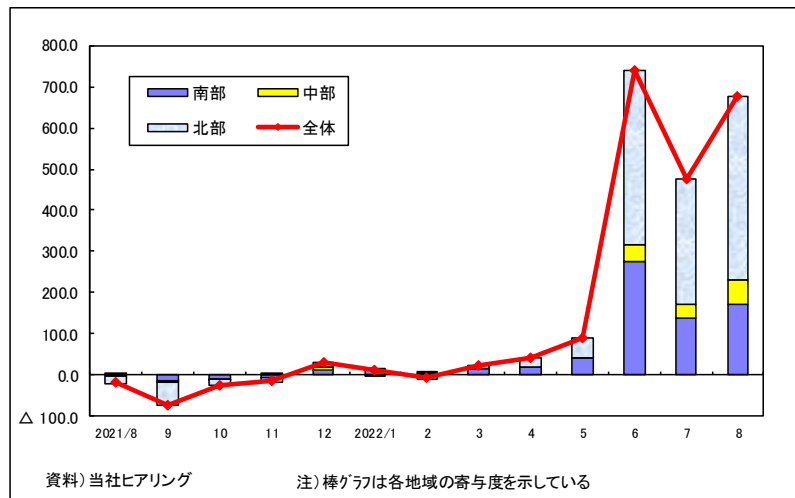
外国客入域観光客数は韓国のティーウェイ航空による一部路線の再開にて、2年5ヵ月振りの入域となりました。しかし、日本への入国制限措置の影響などから100人に留まりました。今後、入国制限措置の緩和が検討されているため、動向を注視する必要があります。

## ②観光施設入場者数・・・前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2021/8	△ 18.3	△ 8.9	76.8	△ 35.2
9	△ 72.4	△ 56.8	△ 56.9	△ 79.8
10	△ 23.5	△ 28.1	△ 18.4	△ 22.1
11	△ 14.3	△ 16.0	40.0	△ 19.9
12	30.0	37.9	46.7	20.9
2022/1	11.6	42.8	△ 15.5	6.7
2	△ 6.6	23.7	10.0	△ 15.7
3	24.9	60.7	11.3	13.1
4	43.0	61.6	12.2	38.9
5	90.1	153.6	16.8	77.5
6	738.2	1,132.3	472.1	629.3
7	475.9	460.8	479.3	482.7
8	674.9	373.6	519.5	1,039.8

※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設  
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



8月の**観光施設入場者数**は、全体では674.9%増となり、6ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別では、北部の観光施設は1,039.8%増(11.4倍)、南部は373.6%増(4.7倍)、中部は519.5%増(6.2倍)となりました。前年同月は緊急事態宣言が発出され、休業・休園する施設が多数みられたのに対し、当月は行動制限がなく観光需要が高まったことなどから前年同月を上回りました。

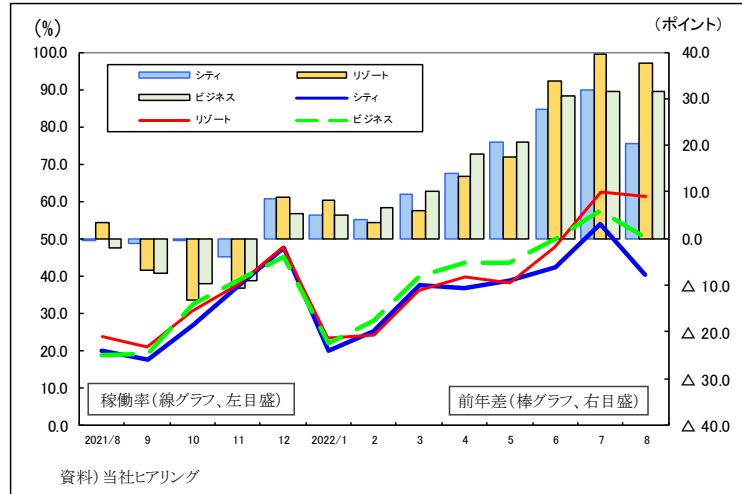
(参考)2019年同月比では、全体で55.1%の減少となります。内訳では南部の観光施設は66.7%減少、中部は55.4%減少、北部は46.8%の減少となっています。

### ③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルすべてにおいて前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2021/8	19.8	23.8	18.7	△ 0.2	3.5	△ 2.0
9	17.6	20.8	19.2	△ 1.2	△ 6.7	△ 7.6
10	26.8	30.4	32.2	△ 0.2	△ 13.3	△ 9.7
11	37.1	37.5	38.7	△ 4.1	△ 10.8	△ 9.1
12	47.3	47.5	45.1	8.4	9.0	5.2
2022/1	20.1	23.2	22.0	4.9	8.3	5.1
2	25.1	24.0	27.9	4.1	3.4	6.7
3	37.3	36.2	40.0	9.5	6.0	10.2
4	36.8	39.8	43.5	13.8	13.4	18.0
5	38.6	37.9	43.3	20.7	17.6	20.6
6	42.1	47.5	49.9	27.6	33.9	30.6
7	53.9	62.5	57.5	31.8	39.5	31.6
8	40.2	61.1	50.3	20.4	37.6	31.6

注) シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス4ホテル  
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



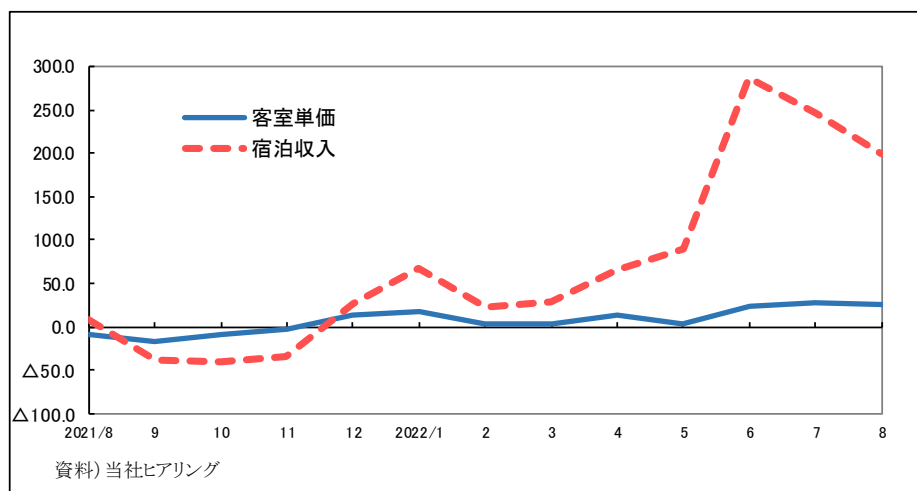
**県内ホテル稼働率**は、シティホテルは前年同月比20.4ポイント増加、リゾートホテルは37.6ポイント増加、ビジネスホテルは31.6ポイント増加しました。緊急事態宣言下にあった前年同月の反動増や、旅行需要の高まりなどから前年同月を上回りました。

(参考) 2019年同月比では、シティホテルは37.9ポイントの減少、リゾートホテルは20.8ポイントの減少、ビジネスホテルは27.3ポイントの減少となっています。

### ④ ホテル客室単価・宿泊収入・・・ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2021/8	△9.4	8.1
9	△17.6	△38.1
10	△9.0	△40.1
11	△3.8	△34.5
12	12.5	26.6
2022/1	16.9	67.2
2	2.9	22.9
3	2.3	29.5
4	14.1	64.3
5	3.4	89.0
6	24.1	286.7
7	27.7	247.0
8	24.7	198.8



※対象施設数: 26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)は24.7%増と9ヵ月連続で前年同月を上回り、**宿泊収入**においても198.8%増と9ヵ月連続で前年同月を上回りました。

(参考) 2019年同月比では、客室単価は10.7%の減少、客室収入は32.2%の減少となっています。

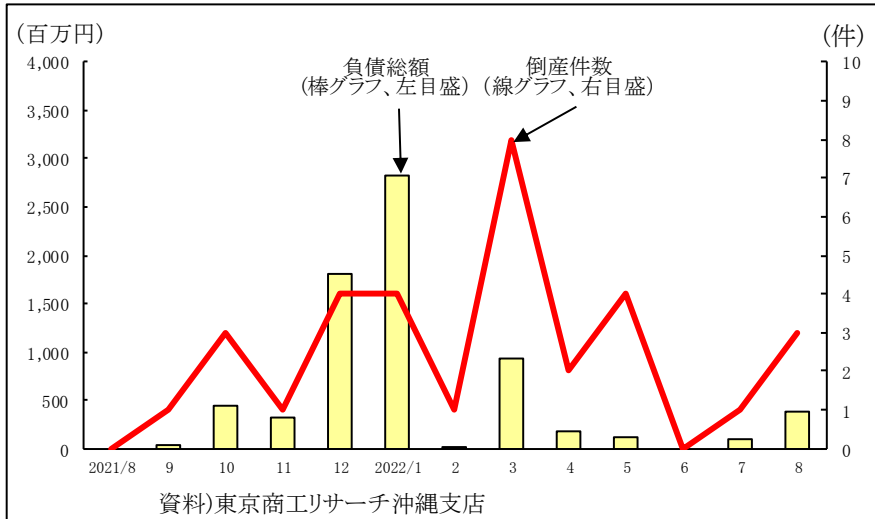


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数、負債額はともに前年同月を上回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2021/8	0	0
9	26	1
10	434	3
11	320	1
12	1,803	4
2022/1	2,819	4
2	10	1
3	935	8
4	170	2
5	120	4
6	0	0
7	94	1
8	381	3



注) 負債総額1,000万円以上を集計対象

8月の企業倒産件数は、3件(うち大口倒産は2件)となり、負債総額は3億8,100万円となりました。  
※前年同月は発生なし。

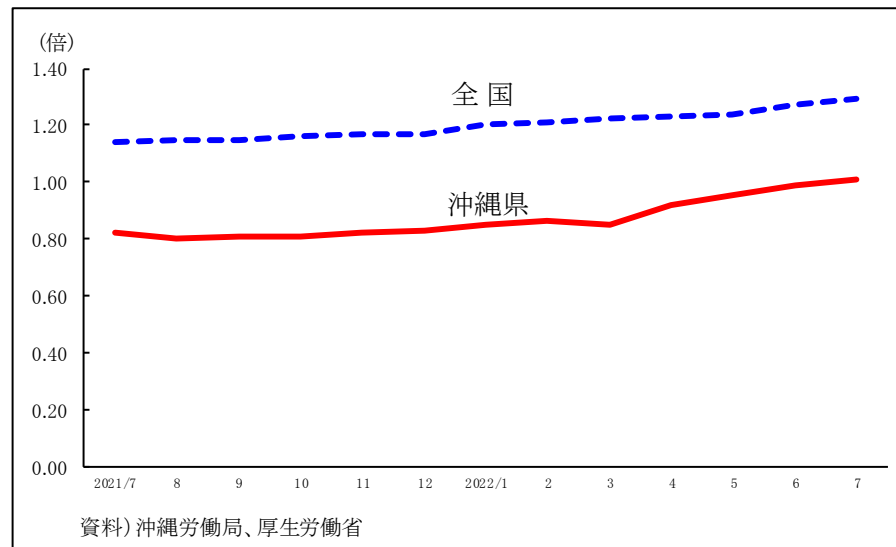


■雇用関連： (やや悪い)

①【参考】有効求人倍率(7月)・・・沖縄、全国はともに前月より上昇。

単位:倍

	沖縄県	全国
2021/7	0.82	1.14
8	0.80	1.15
9	0.81	1.15
10	0.81	1.16
11	0.82	1.17
12	0.83	1.17
2022/1	0.85	1.20
2	0.86	1.21
3	0.85	1.22
4	0.92	1.23
5	0.95	1.24
6	0.99	1.27
7	1.01	1.29



注) 季節調整済

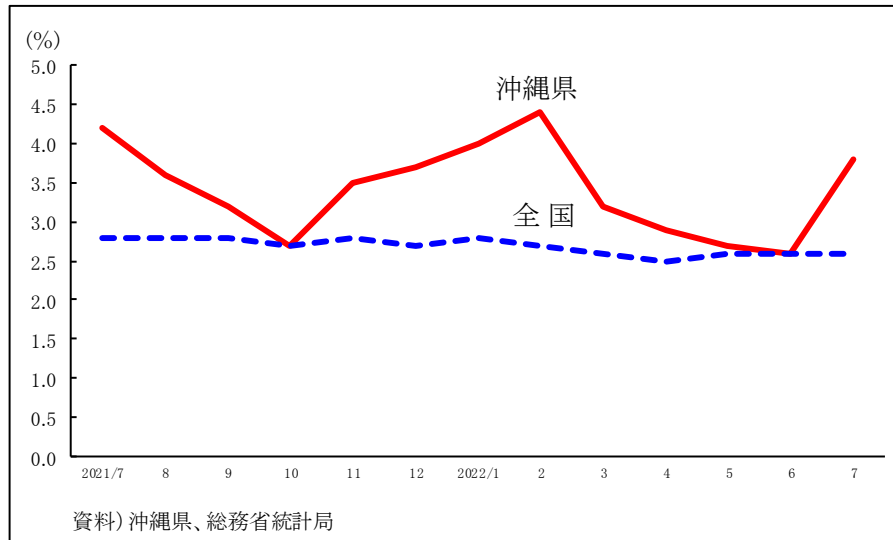
注) 沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

7月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比 0.1%増の 32,038 人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比 1.2%減の 31,802 人となり、有効求人倍率(季節調整値)は 1.01 倍と、前月より 0.02 ポイント上昇となりました。

②【参考】完全失業率(7月)・・・沖縄は前月より上昇、全国は同水準。

単位:%

	沖縄県	全国
2021/7	4.2	2.8
8	3.6	2.8
9	3.2	2.8
10	2.7	2.7
11	3.5	2.8
12	3.7	2.7
2022/1	4.0	2.8
2	4.4	2.7
3	3.2	2.6
4	2.9	2.5
5	2.7	2.6
6	2.6	2.6
7	3.8	2.6



注) 季節調整済

7月の完全失業率(季節調整値)は、3.8%となり前月より 1.2 ポイント上昇しました。